

「生物基礎」	教科	理科	単位数	単位
	学科、学年、組	環境科学科・情報デザイン科、5、6組		3学年
使用教科書	「新編 生物基礎」(東京書籍)			
副教材等	「ニューサポート 新編 生物基礎」(東京書籍)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観 点 の 割 合	評 価 方 法
知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	35%	パフォーマンステスト ペーパーテスト
思考・判断・表現	生物や生物現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究する力を身に付けている。	35%	パフォーマンステスト ペーパーテスト レポート
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。	30%	授業プリント 振り返りシート レポート 行動観察

3 学習計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 生物の特徴について、基本的な知識を身に付ける。 実験器具を正しく扱い、安全に実験を行うことができるようになる。 細胞の観察や、酵素に関する実験などを行い、科学的に考察し表現できるようになる。 観察や実験の結果を主体的に考察し、科学的に探究しようとする態度を養う。
2	2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質の合成 3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ 2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とのはたらきについて、基本的な知識を身に付ける。 DNAの模型の作製からDNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現できるようになる。 DNAについて学習した用語どうしのつながりを整理し振り返ろうとする姿勢を身に付ける。 体内環境はさまざまな器官のはたらきによって保たれていることを理解する。 血糖濃度の変化とホルモンの関係や、免疫のはたらきについて考察し、表現できるようになる。 ヒトの体の調節について主体的に考察し、科学的に探究しようとする態度を養う。
3	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と生態系について、基本的な知識を身に付ける。 身近な植生と環境の観察から、植生と土壌、光の当たり方などの環境条件との関係に気付き、考察できるようになる。 生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察できるようになる。 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う。